

第2回 くまもと戦争遺産の旅 ～熊本の戦跡をめぐり、証言者と戦争遺産から平和を考える～

ピースくまもと設立準備会事務局長 高谷 和生

[日 時] 令和元（2019）年8月4日（日）8時50分～16時30分頃

[場 所] 大江地区旧陸軍施設 陸軍傷痍軍人療養所再春荘内旧施設
通信省熊本航空機乗員養成所・黒石原飛行場 菊池飛行場

熊本に戦争と平和のミュージアム設立に向けて！
～ピースくまもと3本柱の二項目 戦争遺産観光ガイダンス・情報発信～

○バス内コラム・DVD戦争体験証言

戦争遺産・遺産とは 熊本の戦争遺産七大特徴 M76焼夷弾と熊本空襲 健軍飛行場と
掩体壕 菊池飛行場と沖縄への特攻出撃 紙芝居絵本から見た戦争 銃後の体験・証言

○各戦争遺産、ミュージアムでの学び

- ☐ 熊本空襲慰霊碑 ※車窓から 熊本空襲を語り継ぐ
- ☐ 大江地区戦跡「熊本学園大学内十三聯隊食堂」※正門跡は車窓 ※皇威無窮碑は資料紹介
軍都熊本を象徴する唯一の建物 約90年間利用の変遷 平成28年熊本地震被災後の
自助での修復 学園大学生の近代化遺産（戦争遺産）への認識 学園大学「平和学」
- ☐ 熊本再春医療センター内「留魂碑」
空襲被害者の姿 銃後と空襲 空襲の戦争実相と被害体験 語り継ぎの困難さ
- ☐ 「黒石原飛行場奉安殿」
皇民化教育の象徴 教育勅語・御真影 GHQ神道指令 全国遺存約490件 買取と史
跡整備 合志市指定文化財へ 今後の利活用「平和教育」新設校「合志楓の森小中学校」
- ☐ 「菊池（花房）飛行場給水塔・油倉庫・格納庫・慰霊碑」他
菊池市指定文化財「花房飛行場給水塔」 地域に残された戦争遺産や遺構の記録と保存
平成28年熊本地震に伴う文化財災害復旧事業」での修復 地域で今も続く慰霊際・行
事 戦争遺産を活用した地域づくり
- ☐ 菊池飛行場ミュージアム
菊池飛行場に関する民間ガイダンス施設 菊池飛行場記録・証言収集 平和の情報発信

○戦争証言者の願い、継承していきたい市民の想い

黒石原飛行場奉安殿

「橋本繁男さん」

陸軍大刀洗飛行学校黒石原教
育隊 大空へのあこがれ
地上勤務 8/14土崎空襲
8/15敗戦
奉安殿の事
平和学習への
思い
子ども達への
願い



合志の近代遺産
を学ぶ会

花房飛行場の戦

争遺産を未来に
つたえる会

生協くまもと
平和サポーター会
戦争体験証言DVD
『語り継ぐ
戦争の記憶Vol1』

菊池飛行場

「倉沢泰さん」

軍務・軍人・敗戦
戦後の開拓団として入植
幼児教育への思い
命の水
地域の変容
地域のアイデ
ンティティ
給水塔の文化
財指定・修復



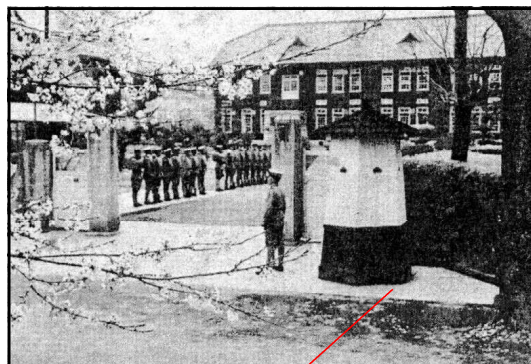
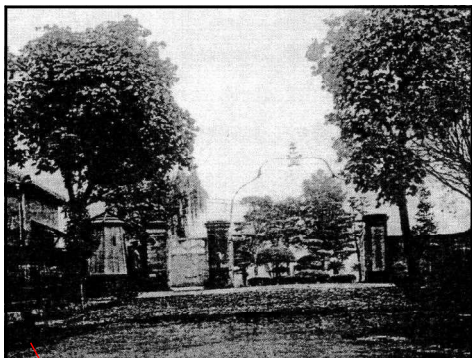
連絡先

ピースくまもと設立準備事務局 事務局長 高谷 和生

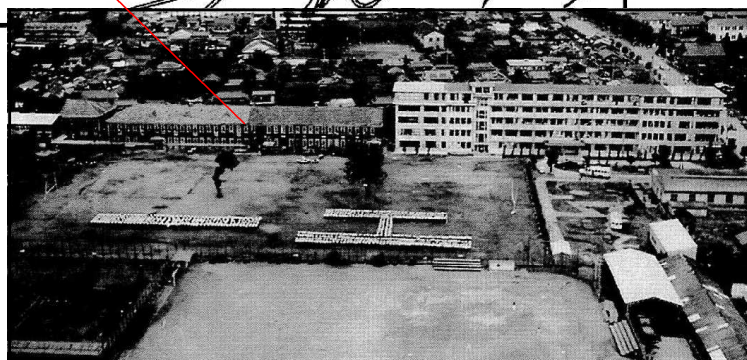
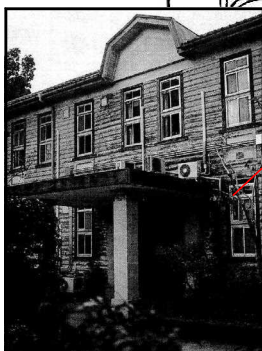
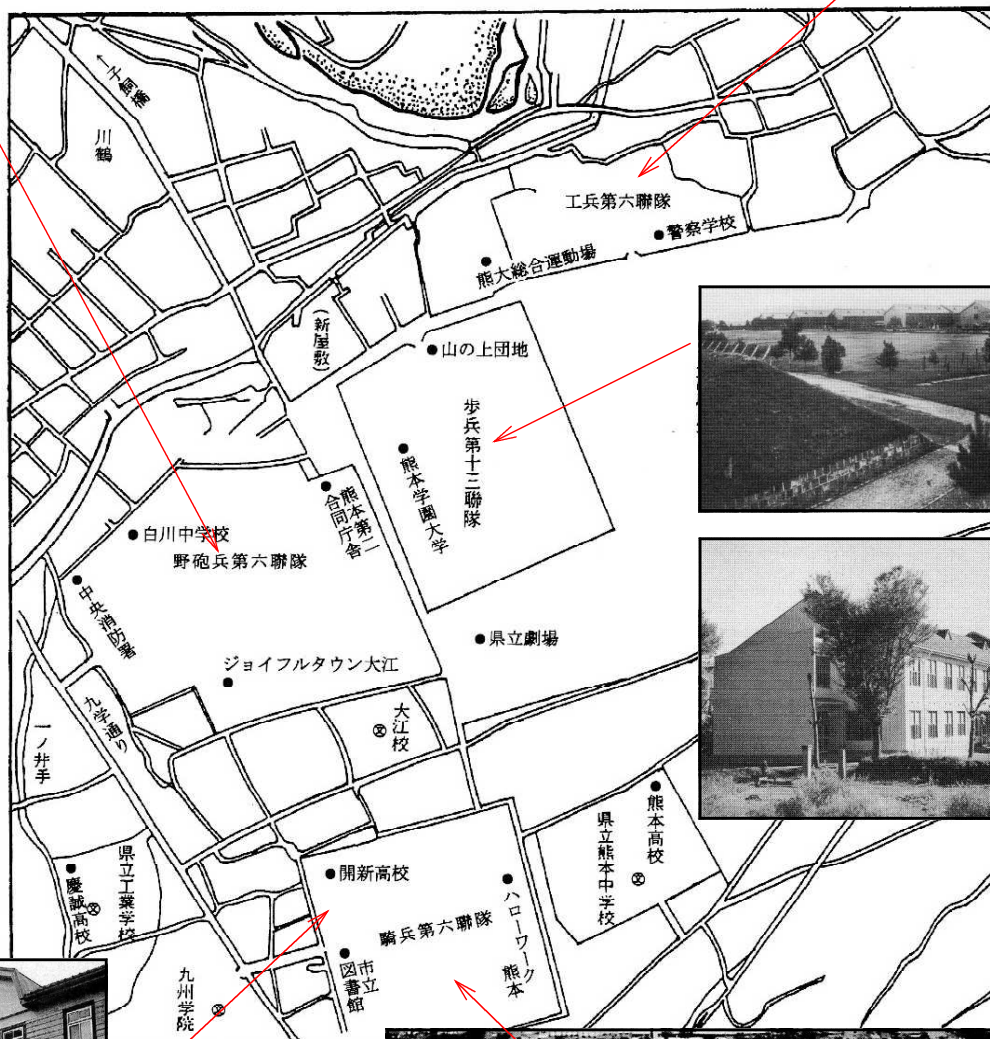
個人携帯 090-1513-5528

Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp

http://www.kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/



大江の軍事施設付近地図（地図内の●印は、現施設名）1940年頃

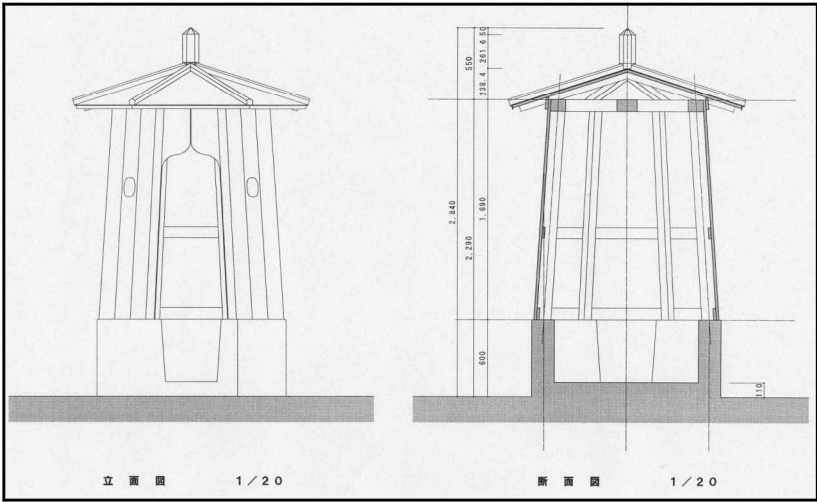


『子どもと歩く戦争遺跡 熊本編Ⅰ』

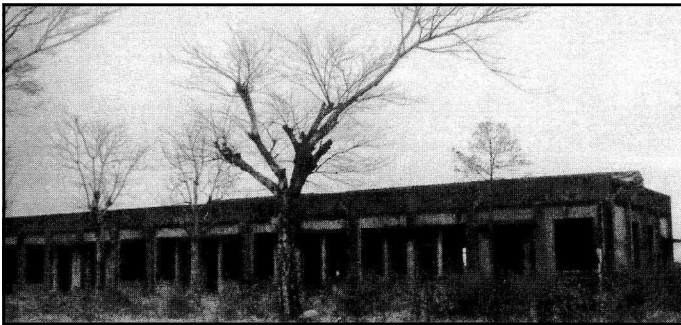
熊本の戦争遺跡研究会 2005

『戦後65年 熊本の戦争遺跡』

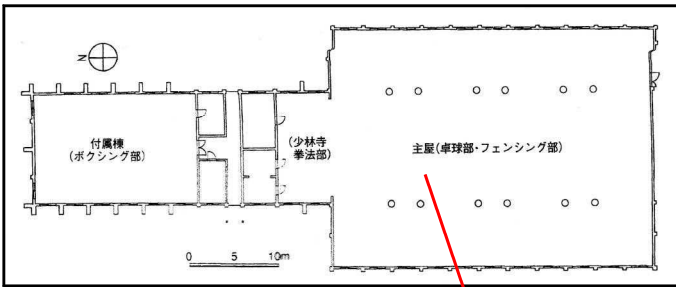
熊本の戦争遺跡研究会 2010



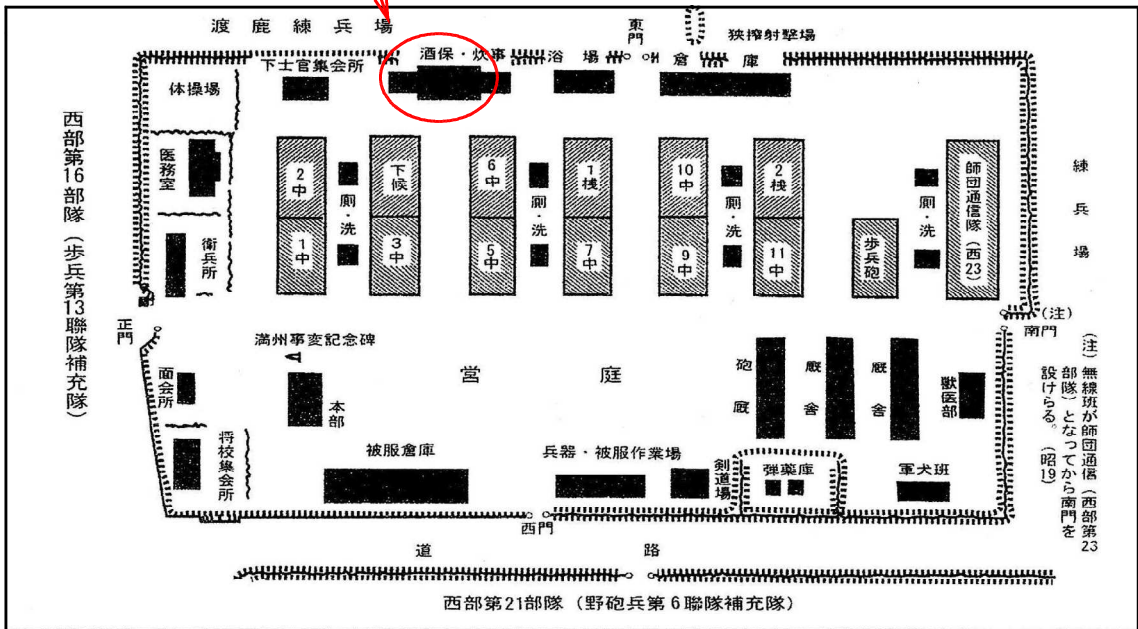
移転された「歩兵十三聯隊木造立哨所」
現陸上自衛隊北熊本駐屯地防衛館施設内



歩兵十三聯隊酒保・食堂（購入時写真・平面図）



移転後に兵舎を利用した旧熊本短期大学



□第六師団（だいろくしだん）は、大日本帝国陸軍の歩兵師団の一つ。人員は約25000名、所在地は熊本-満州-北支-中支-ソロモン諸島、編成地は熊本、通称号/略称は明、補充担任は熊本師管区である。

□第六師団は、1872年（明治5年）に設置された熊本鎮台を母体に1888年（明治21年）5月14日に編成された師団であり、熊本・大分・宮崎・鹿児島九州南部出身の兵隊で編成され衛戍地を熊本とする師団である。なお1940年（昭和15年）には歩兵第47連隊（大分）を第48師団に転用し三単位編制に改編された。

□明治・大正期

1894年、日清戦争では山東半島に上陸して威海衛攻略戦に参戦し、日露戦争では当初第2軍に属し沙河会戦を戦うが、沙河会戦後第4軍に編入されたのち奉天会戦に参戦する。

1910年4月29日、師団司令部留守部を廃止[1]。1916年6月22日、師団司令部が熊本偕行社に移転し[2]、さらに1917年4月5日、熊本市本丸へ移転した[3]。

1923年（大正12年）から1925年（大正14年）にかけて満州に駐屯し、帰国後、1928年（昭和3年）4月の第二次山東出兵に参加する。満州事変では1932年（昭和7年）末に動員がかかり熱河作戦に参戦、さらに中国軍を追って万里の長城まで進出する。

□大陸戦線

1937年（昭和12年）日中戦争（支那事変）が勃発すると、7月27日には支那駐屯軍隷下となり華北での作戦に従事し、10月20日には第10軍（司令官：柳川平助中将）隷下となり、第18師団・第114師団とともに杭州湾に上陸し中国軍の背後からの攻撃にあたり、続いて南京攻略戦に参戦する。

1938年（昭和13年）2月14日に中支那派遣軍隷下となり徐州会戦を、同年7月4日には第11軍隷下となり武漢作戦を戦う。この間の昭和13年（1938年）5月15日には、留守第六師団の担当で第106師団が編成され、同じく第11軍隷下で武漢作戦に参戦し悪戦苦闘する一方、第6師団は快進撃を続け漢口一番乗りを果たし10月26日に占領する。

□太平洋戦線

太平洋戦争開戦後、1942年（昭和17年）11月にソロモン諸島方面の作戦担当の第17軍に編入される。当初はガダルカナル島に派遣される予定であったが、大本営はガダルカナル島からの撤退を決定、師団は1943年（昭和18年）初頭にソロモン諸島のブーゲンビル島（Bougainville）南部に進出する。同年11月、タロキナ地区に連合軍が上陸し飛行場を建設したため、第6師団を主力とした第17軍は飛行場奪還を試みるが、1944年（昭和19年）3月の反攻（第2次タロキナ作戦）を最後に組織的軍事力を失う。

その後、主戦場がサイパンからレイテ島へと移り、アメリカ軍主力の連合軍は積極的攻勢には出なかったもののソロモン諸島の日本軍は兵站を絶たれ、長く兵器弾薬が欠乏し飢餓と疫病に苦しむ。第2次タロキナ作戦後の歩兵連隊は4,923名（外、戦傷1,787名）、終戦時には1,654名になったという。1944年（昭和19年）11月に主力がオーストラリア軍に代わった連合軍は攻勢に転じ、日本軍主力のこもるブイン（Buin）地区に迫ったが、壊滅寸前に1945年（昭和20年）8月15日の終戦を迎えた。同年9月にオーストラリア軍タロキナ基地で降伏文書に調印、南部沖合いのファウロ島（Fauro）に収容される。

□最終所属部隊

歩兵第十三連隊（熊本） 歩兵第二十三連隊（都城） 歩兵第四十五連隊（鹿児島）
野砲兵第六連隊 騎兵第六連隊 工兵第六連隊 輜重兵第六連隊
第6師団通信隊 第6師団兵器勤務隊 第6師団衛生隊 第6師団第1野戦病院
第6師団第2野戦病院 第6師団第4野戦病院 第6師団病馬廠 第6師団架橋材料隊

高谷各文献より抜粋して整理

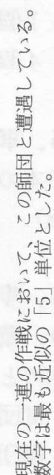


Fig. 10. 日本軍の「標準」3単位制歩兵師団



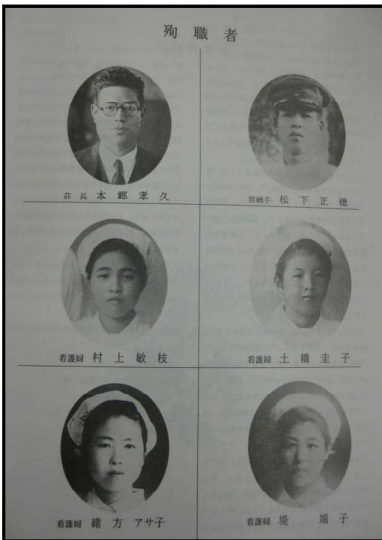
留魂碑碑文

昭和二十年五月十三日午前六時 突如空襲警報発せられ 莊長職員共に直に警戒につく 既にして敵機莊内上空に襲来するや 患者に退避を連呼しつつ全員突差に本館前防空壕内に退避せり その刹那頭上グラマン機編隊より投下せし爆弾二個は不幸本壕に命中 一瞬にして莊長等六名の命を奪い去れり時に午前六時五十分 今左に殉職職員の名を列記し度んでその霊を弔はむとす

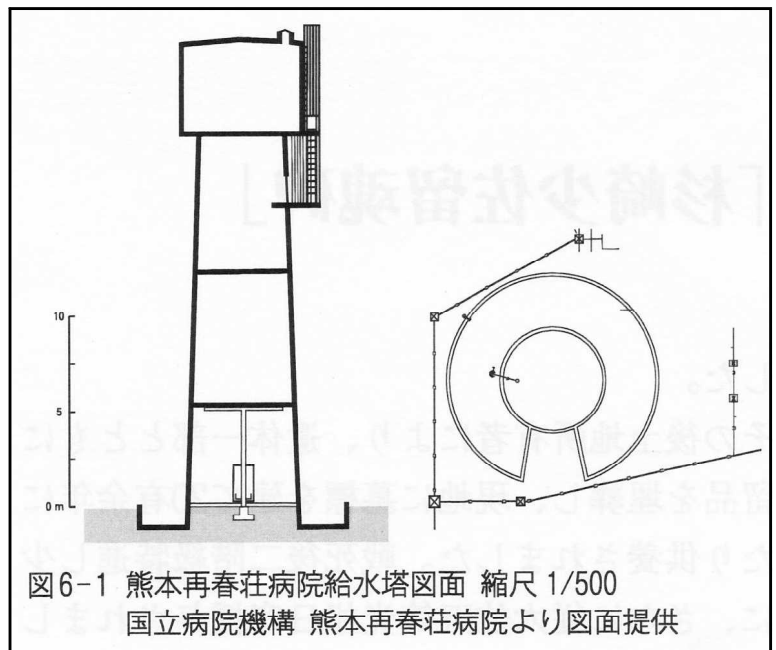
莊長	本郷孝久博士	四七
看護婦	村上敏枝	一七
看護婦	土橋圭子	一七
看護婦	堤瑞子	一五
看護婦	緒方あさ子	一五

惟うに諸子は戦時下幾多の困難不便を忍び一意患者の診療看護に努めつつありしに 測らずも遂に不慮の死を招き 戦争犠牲者となり果てぬ されどその霊亦此土に留まりて宛然患者を養護するに似たりその殉職献身の志を無にせず かつ今次無謀の大戦を人類史上の最終戦として世界永遠の平和を期せんには 一に職員 療養者の努力に俟たずんばあるべからず 刻して以て銘とし 仰いで以て龜鑑となさむ

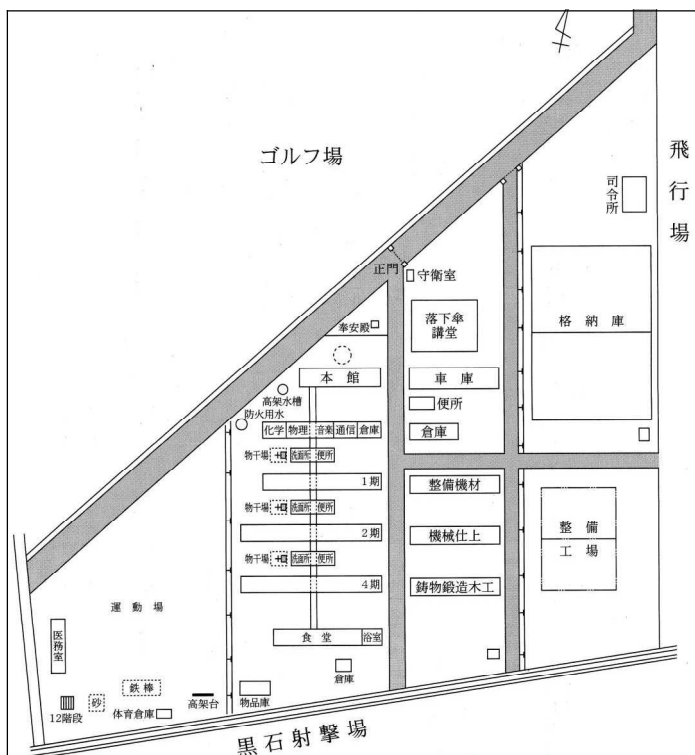
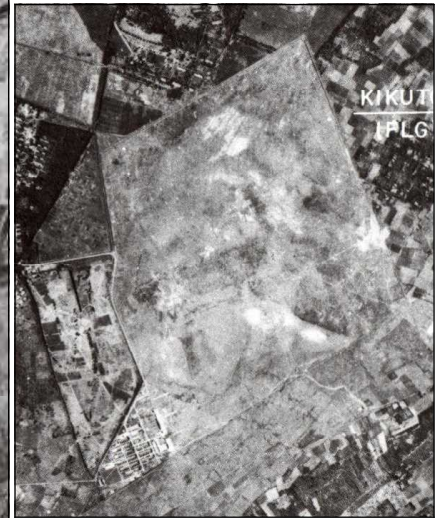
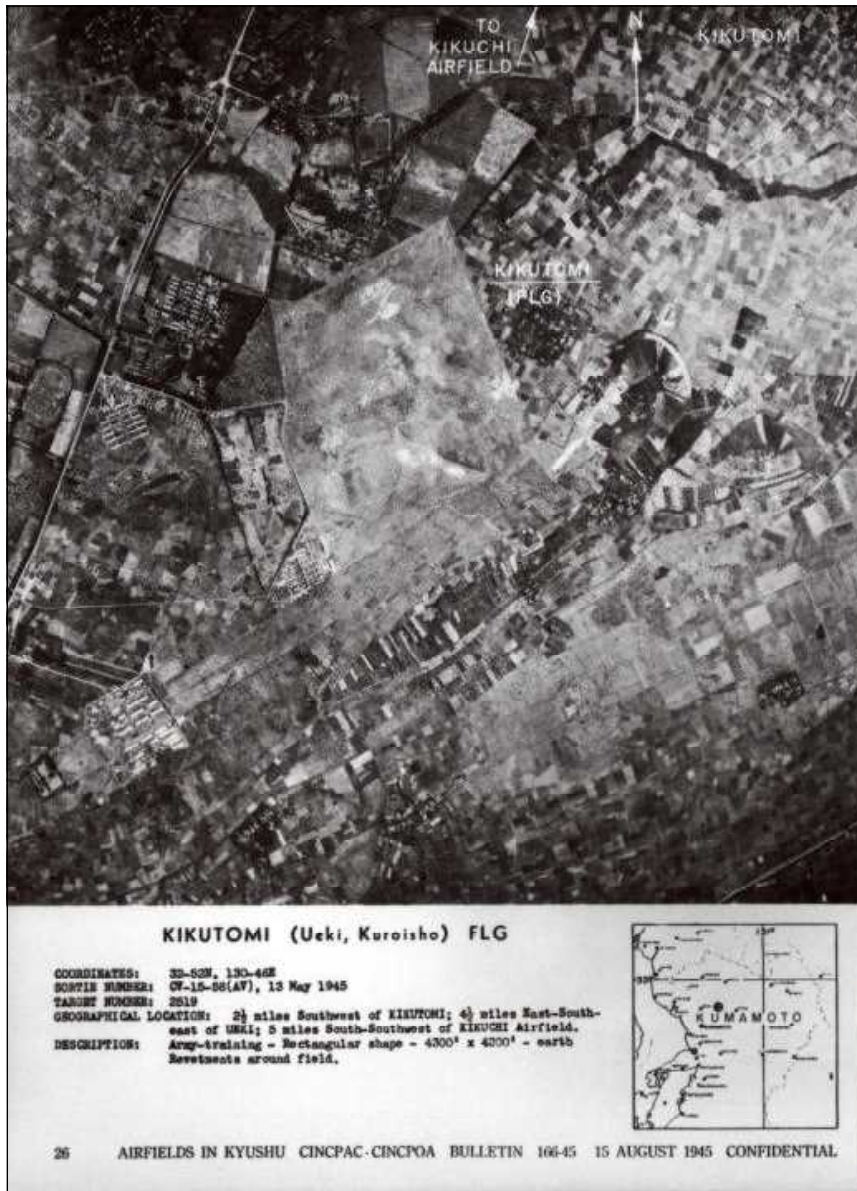
昭和二十六年七月十三日 森本 忠 撰
安永 浅吉 書



上左：陸軍傷痍軍人療養所再春莊正門。給水塔を遠望
上右：「留魂碑」碑文
中左：空襲で亡くなられた6人の方々
中右：満開の桜のものと「留魂碑」



陸軍傷痍軍人療養所再春莊給水塔は、病院新本館棟建設に伴い平成29年12月解体
下左：桜の木々にそびえ立つ旧「再春莊給水塔」 ※現在は消滅
下右：「陸軍傷痍軍人療養所再春莊給水塔」図面 熊本再春莊病院より図面提供



上左：黒石原飛行場と周辺図
 米空母ランドルフ戦闘報告内記載
 国立国会図書館蔵
 上右：黒石原飛行場拡大写真
 左下：黒石原飛行場管理区画配置図
 右下：飛行場管理区画写真
 訓練生が上空より撮影（昭和19年頃か）

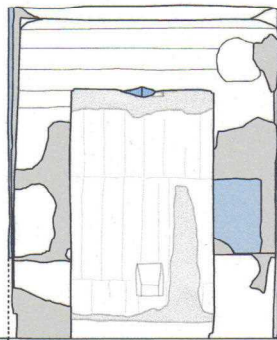
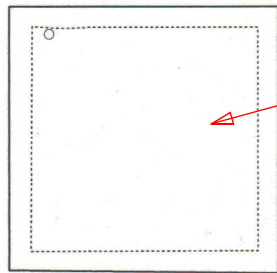
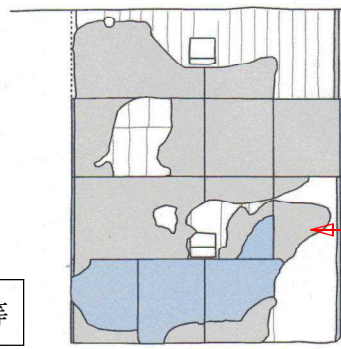




大理石の貼り付け状況等



…大理石
…モルタル



黒石原 奉安殿実測図(外側)

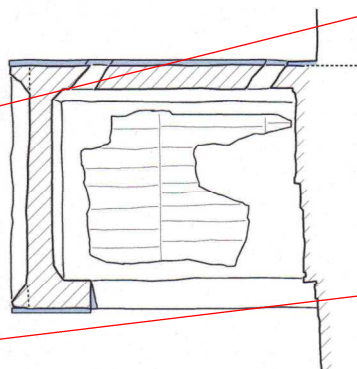


洗浄落書き除去前の奉安殿外観・内部写真

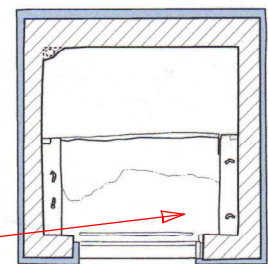
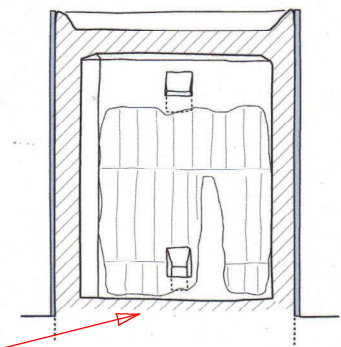
右上：奉安殿北側。外壁パネル落下
右中：屋上部窪み状況と冠水の様子
左中：落書きが残る内部状況
左下：右側の袖部状況とボルト。左
右には柵、内部は木製貼りと想定



…大理石



0 2m



黒石原 奉安殿実測図(内側)